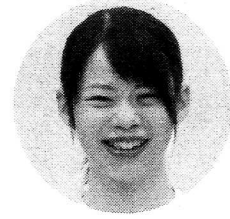


下諏訪市民新聞 令和4年2月17日(木)

北京冬季五輪

団体追い抜き「銀」

下諏訪町広瀬町、日本電産サンキョー所属の高木菜那選手(29)は15日、北京冬季五輪のスピードスケート女子団体追い抜きで銀メダルを獲得した。平昌五輪に続く連覇にはならなかったが、地元選手の活躍に祝福する声が町内で上がっている。【共通面に関連記事】



日本電産 サンキョー 高木菜那選手

銀メダルを獲得した高木選手に日本電産サンキョー提供

小学1年の時にスピードスケートを始めた下諏訪南小学校5年の野明柚希さんは「高い」と話した。

木選手に)小さい頃に会ったことがある。オリンピックに出ることも大変なのに、メダルを取るってすごいと喜んだ。

野明さんは団体追い抜きの競技で、1月に開かれた第42回茅野ジュニアスピードスケート競技会で3位に入った。「高木選手みたいになれるよう、これからも練習を頑張りたい」と話した。

特殊浴槽一式を更新

公益財団法人JK Aの補助で

信濃医療福祉センター

手は悔しい思いを語っていたが、前回金メダルと追われる立場にありながら、良いチームワークで努力を積み重ねてきたと思う。全てが終わったら、2大会連続メダルを町民とみ

町では、高木選手が出場する19日(土)の女子マススタートの結果後にメダル獲得を祝う懸垂幕を庁舎に掲げ、様子を見守った。

日本電産サンキョーは、新型コロナウイルス感染症防止でパブリックビューイングを行わなかったが、食堂のテレビで自由に見られるようにし、有志約30人が様子を見守った。

念たか、2大会連続メダルはチームパシユートのスペシャリストとしてチームを進化させてきた努力の結果であり、その頑張りを評価したい」とコメントを出した。



駄菓子を並べる鈴木さん親子

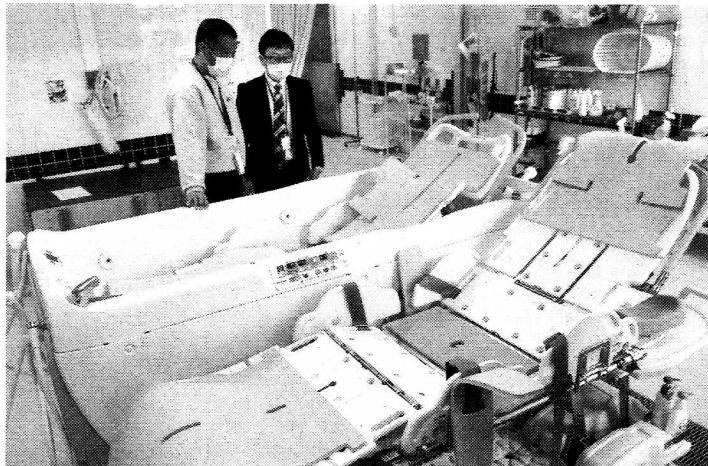
親子が、駄菓子店「まはろはな」を自宅にオープンさせた。縁側にコーナーを設けて、昔ながらの対面販売を行うのが特徴の一つ。「駄菓子店ならではの良さを出し、いろんな人が交流できる場所になれば」と、地域住民のつながりを広げる切っ掛けの場になることを願う。

○…東京の下町、台東区出身。旅行で諏訪地域を訪れたのが切っ掛けで、「下諏訪にも下町の風情がある」と町

地域おこし協力隊らと情報交換する中で昨年11月に移住、空き家だった戸建てを借りた。販売は年明けから行い、30~40種類を取りそろえる。予約制でケーキやブーケの形にしたプレゼント用の駄菓子セット、名入りの食器提供もしている。午後2時~5時。不定休。

○…2016年に同区内で出

店したのを皮切りに出張販売も続け、地域住民との距離を縮めてきた。下諏訪でも関係を築いていきたいと考えて、「地域の皆さんに立ち寄ってもらい、おしゃべりできる場所になっていければ。地域で活動する作家の作品も置き、知ってもらう機会も提供していきたい」と展望している。問い合わせは同店(電090・7717・6712)へ。



公益財団法人JK Aの補助で更新した特殊浴槽一式

下諏訪町東山田、信濃医療福祉センターは、介助が必要な児童が入浴する特殊浴槽一式を更新した。公益財団法人JK A(旧日本

まひの障害がある0~50歳の94人が利用する医療型障害児入所施設。二つの病棟に3台

更新した浴槽は約2坪の長さがあり、幅70センチ、深さ50センチ、ストレッチャーが両側にある。浴槽の上に水平移動し、浴槽を上昇させて入浴する。ジェットバスや肩の部分にシャワーが付くなど、新たな機能を備える。

昨年12月に使用を始め、南病棟の54のうち約30人が、職員の見助を受けて週4回利用している。同センターは以前、別の1台も同法人の補助を受けて浴槽を更新済み。「安全で快適な入浴介助の態勢が整った。非常にありがたい」と喜んでいる。